

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号  
三菱UFJリース株式会社  
取締役社長 白石 正  
(コード番号 8593 東証・名証第1部)

お問合せ先

広報IR部長 太田尚志

TEL 03-6865-3002

## **三菱UFJリース 耐震・環境不動産支援基金と共同で** **老朽化不動産の再生事業への投資を開始**

今般当社は、一般社団法人環境不動産普及促進機構\*1（以下「Re-Seed 機構」）が出資する投資事業有限責任組合（以下「LPS」）と共同で、老朽化不動産の再生事業への投資を開始しましたのでお知らせいたします。

本件では、当社と Re-Seed 機構の出資する LPS が、環境改修事業を行う特別目的会社に出資し、特別目的会社が大阪市内の築年数が一定期間経過した稼働中のオフィスビル（以下「対象物件」）を取得します。特別目的会社は、その後老朽化した空調機器等の設備更新やリニューアル等の環境改修工事を施し、省エネ環境性能の認証システムである「建築環境総合性能評価システム CASBEE（以下「CASBEE」）」のAランク認証を得た上で、運用していく予定です。

CASBEE は、国土交通省が支援し産官学の共同研究により開発された認証システムであり、本認証を得る事で環境性能の「見える化」が実現し、テナントへの訴求力向上に伴い、対象物件のバリューアップ効果が高まるものと期待されます。

日本国内のビルの多くは老朽化が進んでおり、今後改修を要する国内の老朽化不動産ストックは多く存在します。今回当社が投資する老朽化不動産の再生事業は、不動産の建て直しと比べて、環境への負荷が少ないことに加え、地域再生・活性化に資する街づくりに役立つため、老朽化不動産ストックの有効な解決方法の一つであると考えております。

当社はお客様の事業パートナーとして、これまで培ってきた不動産流動化事業の専門性や、国内トップクラスの実績を持つ ESCO 事業（ビルや工場を対象として総合的に省エネルギー化を図るビジネスモデル）における経験や知見を最大限に発揮しながら、今後も積極的に都市老朽化ストックの再生に貢献してまいります。

\*1 一般社団法人環境不動産普及促進機構

耐震・環境性能を有する良質な不動産ストックの形成を促進することを目的に設立され、国土交通省及び環境省による「耐震・環境不動産形成促進事業」の補助金交付先として、耐震・環境不動産支援基金の設置法人に採択された一般社団法人。

以 上

【スキーム図】

